

報道関係各位

有名シェフによる日本産食材プロモーション ニューヨークで日本食レセプションが開催されました ～「Taste of Japan : A Culinary Journey」～

- 9月23日(火曜日)、ニューヨークで、石破内閣総理大臣及び山本農林水産大臣政務官が参加し、日本産食材を活用した日本食レセプションが開催されました。
- 本レセプションには、約150名の食品関連事業者、米国政府関係者やメディアの方々が参加し、現地トップシェフによる日本産食材を使った創作メニューや日本酒などが提供され、日本食・日本産食材の魅力を発信しました。

国連総会ハイレベルウィーク中に、米国ニューヨークを訪問中の石破茂内閣総理大臣、山本佐知子農林水産大臣政務官は、現地時間9月23日(火曜日)、ニューヨーク市内のレストランにおいて開催された日本食レセプションに出席し、日本食・日本産食材の魅力を国内外に向け広く発信しました。概要は次のとおりです。

概要

国連総会ハイレベルウィーク中で世界の注目が集まるニューヨークにおいて、9月23日(火曜日)午後5時30分(日本時間24日(水曜日)午前6時30分)、農林水産省、日本貿易振興機構(ジェトロ)及び日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)の主催により、日本食レセプション「Taste of Japan : A Culinary Journey」を開催しました。レセプションには約150名の食品関連事業者、米国政府関係者やメディアの方々にご参加いただきました。

レセプションに出席した石破総理大臣は、挨拶において、日本の食材の多様

性や風味の豊かさ、これらの米国での人気に触れ、農地の復活とコメの増産等の農政の転換を通じて世界のおにぎり屋を10倍にすることを目指すとともに、日本産の食材を通じて世界の人々を幸せにできることを強調し、日本の食文化や日本産食材の魅力を広くアピールしました。

会場では、ニューヨークで活躍するトップシェフによる、コメ、ホタテ、ブリ、和牛などの、日本の代表的な輸出食材を用いた創作メニューや、日本酒などを提供し、日本産食材の魅力を発信しました。



石破総理大臣による挨拶
(写真提供：内閣広報室)



石破総理大臣ご一行と現地料理人
(写真提供：内閣広報室)



乾杯の様子



エマ・ベングトソンシェフ提供メニュー



日本食普及親善大使
小谷修一シェフ提供メニュー



日本食普及親善大使
大堂浩樹シェフ提供メニュー

参考：[有名シェフによる日本産食材プロモーション ニューヨークで日本食レセプション開催（令和7年9月22日プレスリリース）](#)



お問合せ先

輸出・国際局海外需要開拓グループ

担当者：内山、川原

代表：03-3502-8111（内線 3511）

ダイヤルイン：03-3502-8058